事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部国保年金課			■担当係	国保係	
■評価事業名称	人間ドック等補助金					
■事業開始年度						
■評価事業コード	040100 - 030 ■会計区分 国民健康保険特別会計					
■総合計画での ■位 置 づ け	■政策 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり					
	■基本施策	■基本施策 03 健康づくりの推進と地域医療の充実				
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進				
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業) ■政策・業務区分 政策				政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの					
■法令等の名称	北上市国民健康保険人間ドック受診料補助金交付要綱					
■関連計画の名称	国民健康保険保健事業実施計画					
■事 業 の目的と概要	疾病の早期発見、早期治療に努めることにより、被保険者の健康を維持するとともに、療養給付費の抑制を図る。人間ドックを受診した国民健康被保険者への助成					

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01 人間ドック等補助金	19歳以上の国 保被保険者	受診者数 (人間ドック・脳ドック 計265人) 支給総額5,300千円 【当初予算額】	受診者数 251 (人間ドック件245 脳ドック6件) 支給総額 4,933,108円

3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	4,870	5,091	4,944	4,933	
人 件 費	865	1,756	1,759	2,234	
その他 (公債費・ 減価償却費等)					
フルコスト	5,735	6,847	6,703	7,167	

4. 評価指標等の状況

指標 コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明		
01 人間F 数	ヾッグ及び脳ドッグの件	250	258	251	251	各年度の人間ドッグと脳ドッグの受診件数である。		
						目標値は前年度実績値の 5%増とした。		
03 保険約	合付費の伸び	311,190円	323,828	326,835	342,464	当該年度保険給付費(費用額)/当該年度末被保険者		
						(被保険者一人当たりの保 険給付費(費用額))		

事務事業事後評価シート「平成27年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析 問題点•課題等 ■目標達成状況 -ほぼ例年並みの給付件数であった。 ○ A. 順調 ● B. 概ね順調 ○ C. 遅れている -3. 国・県・民間との競合関係の有無 -● 大きな不利益やリスクが生じる ◉ 類似の事業はない ○ 不特定多数に及ぶ ● 特定されるが多数に及ぶ ○ 類似の事業はあるが競合はない ○ ある程度の不利益やリスクが生じる ○ 特定少数に限定される ○ 不利益やリスクは小さい ○ 類似の事業があり競合する -4. 事業へのニーズの変化 ·5. 施策の改善需要度(市民意識調査) -一6. 施策の優先度(市民意識調査) ● 順位が高い (●) ニーズが高まっている ○ 順位が高い ○ 順位が中程度 ○ ニーズは変わらない ● 順位が中程度 ○ ニーズが低下している又は合致しない ○ 順位が低い ○ 順位が低い 8. 実施主体の代替性 -7. 他市町村に比較しての優位性 -9. 経済性・効率性の向上 ● 民間委託等の拡充は難しい ○ 先進的またはユニークな事業である ● 今以上の効率化や改善は難しい ● 他と同程度の事業である ○ 民間委託等の拡充が十分に可能 ○ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ○ 全部委託や実施主体の移行が可能 ○ 効率化や改善の余地が大きい ○ 遅れている事業である ■事業の見直し方策 ■今後の方向性 -○ I. 拡充 ○ Ⅳ. 廃止・休止 ■ II.継続 ○ V. 完了 ○ Ⅲ. 縮小